

日立市議会議員

白石あつし 市政だより

第59号

令和8年1月発行

発行人:白石あつし後援会

〒319-1221 日立市大みか町1-27-9

(日立産業制御ソリューションズ労組内)

Tel: 0294-52-9811

日頃から格段のご支援とご指導を賜り心より感謝申し上げます。

昨年、日立市コミュニティ推進協議会は、設立50周年を迎えました。市内のおおむね小学校区を範囲に組織されている23のコミュニティは、「自分の地域は自分の創意と努力でつくり上げる」という理念のもと、半世紀にわたり地域の防災活動や福祉・文化の充実などに貢献しています。

そして、本年4月に日立市と日立製作所による共創プロジェクトが3年目を迎えます。日立市議会としては、特別委員会を設置し、共創プロジェクトの取り組みをさらに推進してまいりますので、引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。

白石 敦



ニュース

窓口にAI音声認識文字表示モニターを設置しました

市では、市役所などの窓口において、耳の聞こえに不安のある方や、話している内容を文字で確認したい方のために安心して相談や手続きができるよう、AIが職員の話した言葉（音声）をその場で文字にして表示するモニターを設置しましたので、ご利用ください。

〈モニター設置場所〉



施設名	階数	設置場所	
市役所 本庁舎	1階	海側	市民課、国民健康保険課
		山側	高齢福祉課、障害福祉課、介護保険課
	2階	海側	市民税課、資産税課、納税課
		山側	広報戦略課（市民相談室）、生活支援課
	3階	海側	生涯学習課
	4階	山側	総務課
	5階	海側	道路管理課、商工振興課
ヒタチエ	6階	海側	料金課
ヒタチエ	1階	—	日立駅前出張所『幸ステーション』

「好き」がつながる、ひたちの輪 みんなで作るファンクラブ

ひたちファンクラブが発足しました!!



ひたちファンクラブは、日立市が好きな方や応援してくださる方（ファン）と市がつながり、市のさまざまな魅力を発見・発信しながら、一緒に魅力あるまちづくりをめざすものです。

会員になると、ひたちファンクラブ公式LINEで日立市の旬な話題や地域を楽しむためのクーポンなどが届きます。住んでいるところに関係なく、公式LINEに友だち登録するだけで、どなたでも会員になれます。



▲友だち登録は
こちらから

定例会報告

令和7年 第4回定例会開催

令和7年第4回（12月）定例会が、12月4日から18日まで開催されました。

令和7年度 一般会計補正予算が可決されました。

一般会計予算が1億6,920万円追加補正されました。主な事業は以下の通りです。

■自立支援等給付事業・・・・・(1億7,300万円)



- ◆就労移行・就労継続支援の利用件数の増加に伴う自立支援等給付費（扶助費）の増額

■生活保護費支給費・・・・・(1億3,960万円)



- ◆医療扶助の増加に伴う生活保護費（扶助費）の増額

■老人福祉施設等の民間施設整備費



補助事業・・(2,340万円)

- ◆民間の特別養護老人ホームの介護用設備整備（見守り付きベット等）に係る費用の補助

■共創プロジェクト推進事業・・・・・(400万円)



- ◆日立製作所と共同で、共創プロジェクトのプロモーション動画を制作

■不用額等の整理・・・・・(▲3億2,660万円)



- ◆児童手当支給費や老人福祉施設整備費など計12事業の不用額や契約差金の整理

■その他・・・・・(1億5,580万円)

- ◆金融支援対策事業
- ◆光熱水費等の増額 他

令和8年4月から水道料金を改定します

本市の水道施設は、老朽化が進行するとともに、頻発化・激甚化する近年の自然災害に備えるため、老朽化対策や耐震化対策の事業を推進しなければなりません。

その事業の財源となる水道料金収入は、人口減少に伴い減少傾向にあり、現行の水道料金では、令和8年度以降の收支が赤字に転じる見込みであることから、市は、水道料金を約20%改定します。水道事業サービスを引き続き安定的に提供していくため、ご理解のほど、よろしくお願ひいたします。

〈改定後の水道料金(例) 2ヶ月当たりの料金〉



水道メーター口径	13mm	20mm		30mm	50mm
使用水量	20m³	40m³	60m³	100m³	160m³
イメージ	単身世帯 高齢者 学生	2人世帯 3人世帯 4人世帯	3人世帯 4人世帯	飲食店	工場
水道料金(税抜)	現行料金 2,040円	5,400円	8,280円	18,760円	34,920円
改定後料金	2,420円	6,420円	9,920円	22,580円	42,160円
差額(改定率)	+380円 (18.6%)	+1,020円 (18.9%)	+1,640円 (19.8%)	+3,820円 (20.4%)	+7,240円 (20.7%)

会派「民主クラブ」の一般質問について

12月8日と9日に行われた一般質問の一部を抜粋して紹介します。

1. 令和8年度の予算編成について

【質問】令和8年度は、ガソリン税の暫定税率廃止などの国の税制改正や人口減少などの影響による市の歳入減が見込まれる中、日立市総合計画前期基本計画や日立市災害復旧基本計画は、最終年度であるため、着実に推進しなければならないが、予算編成の考え方を伺いたい。

【市長公室長】令和8年度の予算編成においては、歳入減を見込んでいるが、現在、全庁一丸で進めている行政経営改革の効果を適切に予算に反映させ、基本方針として「選択と集中による前期基本計画の総仕上げ予算」を掲げて作業を進めている。また、災害復旧基本計画は、引き続き、ソフト・ハードの両面から災害に強いまちづくりを進めるとともに、デジタル化の推進や日立製作所との共創プロジェクトなどについても、重点的に予算配分をして、重要施策を中心としながら、将来の持続的な発展につながる予算編成に努めたい。

2. 新たな観光資源としてのロケ地活用～ロケ地の情報発信について～

【質問】本市は、ロケ活動を支援するフィルムコミッションに取り組んでいるが、他自治体では、ロケ地に出演者のファンを呼び込むため、ロケ地マップを作成している。本市も新たな観光資源としてロケ地の情報発信に注力すべきではないか。

【産業経済部長】市内でロケ撮影が行われた作品が公開されると、本市のイメージ向上や観光振興につながり、経済効果も期待されるため、広く情報発信することは重要である。現在、本市のロケ地情報は、「いばらきフィルムコミッション」のホームページに掲載されているが、市としても、市公式LINEなどのSNSを活用した情報発信を充実させるとともに、ロケ地マップを作成するなど、効果的で魅力的な情報発信に努めたい。



共創プロジェクト推進特別委員会を設置しました

日立市議会は、12月18日（定例会最終日）に『共創プロジェクト推進特別委員会』を設置しました。目的は、日立市と日立製作所による「共創プロジェクト」について、議会の立場から、日立市の活性化と全ての市民が将来にわたって、豊かに生活することができる安全・安心なまちづくりの実現に向けた取り組みを推進させるためです。

この『共創プロジェクト推進特別委員会』で、副委員長を拝命しました。

トピックス

土曜日と日曜日は日立駅前出張所のみ開庁します

1月から土曜日と日曜日に開庁しているのは、日立駅前出張所『幸ステーション』のみとなりました。本庁舎の市民課や各支所は開庁していませんので、ご注意ください。

《日立駅前出張所『幸ステーション』》

- 開庁日…毎日（祝日と年末年始を除く）
- 開庁時間…10：30～13：00、14：00～19：00
- 主な取扱業務…証明書発行、戸籍、住民異動届出、収納、マイナンバーカード申請など
- ※マイナンバーカードを使用すると、各種証明書は、コンビニのマルチコピー機で取得でき、各種手続きも、スマートフォンでオンライン申請できます。



トピックス

市立小・中学校等で2学期制を導入します

県内の7割を超える自治体では、2学期制を導入しています。2学期制は、始業式や終業式などの学校行事全体の効率化が図れ、その分の時間を授業に充てることで、より深く授業内容を理解する機会が増えるなどの効果もあるため、本市は、令和8年度から2学期制を導入します。

●対象：市立小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校

●期間：前期…4月1日から10月第2月曜日まで

後期…10月第2火曜日から3月31日まで

※10月第2月曜日が「スポーツの日（祝日）」であり、土曜日から3連休となり学区の区切りとしやすいため



活動報告

10月

- ・列島クリーンキャンペーン
- ・久慈地区スポーツフェスティバル
- ・坂下地区文化・芸能発表会
- ・戦後80周年日立市戦没者追悼式

11月

- ・日立市コミュニティ推進協議会 設立50周年記念式典
- ・久慈ふくしまつり
- ・ひたちシーサイドマラソン
給水ボランティア
- ・日立市長杯ラジオ体操コンクール

12月

- ・日立市議会 第4回定期会（12月4日～12月18日）
- ・写真でたどる日立市・桐生市
親善都市提携60年の歩み
- ・秋の叙勲・国家褒章受章者
記念品贈呈式

●ひたちシーサイドマラソン 給水ボランティア

11月16日、大みか労働会館前で齋藤県議会議員や労働組合の方たちと一緒に給水ボランティアを行いました。

当日は、地域の多くの皆さんも力走するランナーへ沿道から温かい声援を送ってくださいました。



●写真でたどる日立市・桐生市 親善都市提携60年の歩み

桐生市の子どもたちが夏の臨海学校で河原子海岸に訪れていたことをきっかけに親善都市となりました。現在も、スポーツ少年団や芸術・文化団体などによる交流が行われています。

